

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	いつも心が温かくなるような交流と「幸せになる」という事業所独自の運営理念を作り上げている。		日々のミーティングの中で、理念を意識してご利用者様一人ひとりにとってそれは、どういことなのか話し合いの場を設けていく。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	管理者、職員は、理念を共有し、実践に向け日々、取り組んでいる。		管理者と職員が理念を共有し、実現できるようミーティングの中で具体化した話し合いをしていく。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	ご利用者様の権利、義務を利用案内時の説明文書や契約書にわかりやすく表示し、かつ、ご家族様には、折にふれ伝えている。運営理念をホーム内の見やすい場所に明示している。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内にある商店での買い物や散歩の時、近隣にある病院の受診の際には、近所の方々と挨拶を交わしている。		気軽に立ち寄って頂けたり、認知症の方に関する相談など、地域の窓口となるよう取り組んでいきたい。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会の行事、お祭り、盆踊り、婦人部などにも参加し、地元の人々との交流に努めている。		町内会の回覧など、回ってきており、参加できる物を見つけて入居者の方々と見学、参加して行きたい。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	ボランティアの受け入れや地域住民、見学者の訪問を快く受け入れている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>自己評価により気づいた点を改善し、外部評価でより良いサービスを提供できるよう取り組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>必要な方には支援しているが、職員も理解できるような、研修会などに参加するよう取り組んでいきたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>これからも防止して行くよう、職員間での話し合いや見過ごす事が無いよう努めていきたい。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用様が不満、意見、苦情を記入できる意見ポストを設置しているが、直接話せる信頼関係を築くよう努め、職員、会社での話し合いの場を設けている。</p>		<p>ご利用様に満足していただけるよう、話し合いの場を多くもち、運営に反映させていきたい。</p>
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>定期的にご家族様へ手紙を出し、暮らしぶりをお知らせしております。又、ご家族様来所時や電話で随時、報告しています。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を設けていますが、本年度は、新型インフルエンザの流行により、開催は見合わせております。ご家族様来訪時に、直接、管理者や職員に話して頂くよう機会を設けている。</p>		<p>ご家族様より伺った要望や意見は、ミーティングで話し合いをする。家族会は、あらかじめ開催日を決め、多くのご家族様に参加して頂ける時間を設けるようにしていきたい。</p>
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の話の聞いたり、連絡ノートなどで意見などを聞いた場合は、管理者会議で報告し反映させている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>レクリエーション、誕生会、病院受診など、人員確保が必要などときには、管理者とスタッフが話し合い勤務の調整を行っている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員が変わる時には、声かけや気配りで少しでも利用者へのダメージが最小限に抑えられるよう配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>グループホーム・スタッフ研修や管理者研修など、会社内、外での研修に参加している。</p>	<p>グループホーム・スタッフ研修会にできる限り、スタッフ全員が参加できるように取り組んでいきたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>札幌市中央区グループホーム連絡会などを通じ交流し、勉強会に参加している。</p>	<p>札幌市中央区グループホーム連絡会、他グループホームの事例検討会に参加し、他事業所との経験交流を図り、ケアの向上に活かしていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は、日常的に管理者や職員にストレスに感じる事や悩み事などあれば、話すよう声かけしている。又、親睦会を開き、職員同士のストレス解消になるようにしている。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は、個々の業務内容、努力、実績、勤務状況を把握しております。質を高める為の研修会などにも参加するよう努めている。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初めに築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>直接、お話ができる方は、傾聴し、ゆっくり時間をかけ受け止めるようにしています。言えずに我慢しているような方は、表情や動作を見ながら、小さな変化も見過ごすことのないよう、さり気なく声かけし、思いを受け止めるよう努めています。</p>	<p>直接、お話をされる方もいますが、コミュニケーションが図りづらい方もいらっしゃるので、色々なお話の中から、不安なことや求めていることをしっかりと受け止めていきたい。</p>
24	<p>初めに築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様が来所の折には、不安な事、求めている事など伺うようにしています。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様にも安心していただけるよう、これからもお話を伺える機会を設けていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	どのような事でも相談に応じ、他の利用も含めた対応に努めています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	グループホーム入所時には、不安なご入居者様が多く、慣れるまでは、ご家族様と相談しながら、馴染みの関係や信頼関係を築いていくように努めています。		入居後、間もない頃のご利用者様の不安感を理解して、徐々に、その場に馴染んで頂けるよう、さりげないサポートをして、他ご利用者様とも交流ができるよう取組んでいきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一人ひとりの性格に合わせ、画一的な介護にならないよう職員も教えられながら、共に生活をしています。		一緒に過ごしながら、一人ひとりの性格に合わせ希望に沿った支援をしていきたい。
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人とご家族様の立場に立ち、相談したり悩みを聞いたり、色々な方面から支えあう関係を築いています。		ご利用者様ご家族様が安心でき、信頼される関係を築いていけるように取組んでいきたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	これまでのご家族様とご利用者様の事情について、入居時のアセスメントに踏まえ、本人の日常生活や変化など電話連絡や来訪時には、詳しく伝え、家族との関係には配慮している。		ご家族様と相談しながら、より良い関係が築いていけるよう支援していきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまで大切にしてきた場所や人との関わりが継続できるようお友達の来訪や手紙の交換、電話など本人の希望を受け入れ支援している。		馴染みの人や場所に行きたいとの希望時には、ご家族様と相談した上で検討し、できる限りの支援をしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食事の時だけでなく、1日に何度も集まる機会を作り、ご利用者様全員が関わり合い、支えあえる関係が築けるよう支援している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去後も必要に応じて情報提供をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	うまく伝えることが出来ない方にも、今、何を感じているか、普段の生活の中から探り、色々な方法で検討している。伝える事が出来る方には、意向に沿うようにしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様、ご家族様のお話の中から、これまでの生活歴や馴染みの暮らしなどの情報を得るようにしています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個人日誌や介護日誌などに記録することで、1日の過ごし方や心身状態が解かり、個々に持っている力を見過ごす事のないように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	自分らしく生活できるように、ご本人やご家族様の要望を聞き、介護支援専門員の適切な管理のもとに意見やアイデアを反映した介護計画を作成しています。		画一的な計画でなく、ご利用者様に沿った個々の計画を作成していくよう取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状況変化が生じた都度、介護支援専門員の管理のもと、介護計画を見直し作成している。		現状を把握した上で、即した新たな介護計画を作成していけるよう取り組んでいる。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やけあの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	ご利用者様一人ひとりの日々の様子、身体や精神の変化を記録し、介護計画の見直しに反映させています。		一人ひとりの日々の様子の変化、体調管理や身体機能などこれからも注意しながら、職員、全員が情報を共有できるよう取り組んでいる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご利用者様、ご家族様の状況に応じて、通院、買い物、送迎などの必要な支援は、可能な限り、柔軟に支援しております。		ご家族様と連絡を取り合いながら、可能な限りの支援をしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	レクリエーションや誕生会など、必要に応じてボランティアに依頼しており、ご利用者様へ支援しております。		趣味の集まり等に参加できるよう、支援していきたい。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご本人の希望や体調に応じて、訪問美容サービスを利用しております。		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、情報交換し連携を図っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>施設看護師やかかりつけ医があり、日常の健康管理を支援しています。</p>		<p>地域にある病院との連携を強め、ご利用者様の急な変化に迅速に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>44 認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>往診医は、認知症の専門ではないが、ご利用者様、ご家族様、職員の話に熱心に聞いてくださり、指示や助言を頂いています。</p>		
<p>45 看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所として看護職員を確保しており、日常の健康管理や体調変化時の相談をしています。</p>		
<p>46 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院した時には、介護添書を活用し、情報交換をしています。病院関係者と連携を図り、カンファレンスに参加し、早期に退院できるよう支援しています。</p>		<p>ご利用者様の入院時には、頻繁にお見舞いに行くようにし、ご家族様とも情報交換しながら、回復状況を把握し、速やかに退院できるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>47 重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>ご本人、ご家族様の意向と医師の診断を基に話し合い、全員で方針を共有するように努めています。できるだけ早い段階から検討していけるように体制を整えています。</p>		
<p>48 重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>事業所で、できる範囲内のケアを、医師、看護師と連携を取り、ご家族様と共に変化に備えての検討や準備ができるよう支援しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	情報交換は、できるだけ詳しく行い、住み替えによるダメージを防げるよう問題点を話し合うよう努めています。		事情により、移り住む際には、ご利用者様に関わるすべての関係者と話し合い、情報交換し支援していきたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	その方の持っているプライドやプライバシーを損ねるような声かけや対応には、充分、配慮しています。記録などの個人情報にも配慮しています。		意思表示の困難な方でも、表情などを見ながら、できる限りの方法を検討し支援していきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	一人ひとりに合った声かけや説明をし、ご利用者様が決め、納得しながら生活できるよう支援しています。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	散歩や入浴、運動など、その都度、声かけし、無理強いすることなく、希望に沿って支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	その日に着る洋服は、本人に決めて頂けるよう声かけし、理美容は、好みのおしゃれができるよう支援している。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	食事の準備や片付けなど出来る方には、お手伝いして頂いています。食事は、食材の彩りや盛り付けに考慮し、目でも味わっていただけるよう工夫している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲み物は、一人ひとりの好みに合わせて、お出ししています。おやつは、昔風の菓子や手作りのおしるこ、季節の果物など皆で楽しく食べられるよう支援している。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	日中、失敗のない方には、オムツはせず、夜間だけにし、その他の方には、時間をみはからって、声かけしています。		オムツを使用させていただく際には、その方の人格を尊重した、声かけや対応を行っていききたい。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週に2度のペースで入浴して頂いているが、体調不良の方や入浴の嫌いな方には、入浴日の変更や声かけのタイミングなど、考えながら入浴の支援をしている。		入浴を楽しんでいただけるよう、ご利用者の希望を取り入れながら支援していききたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ご利用者様、お一人お一人、就寝時間が違う為、好きな時間に入眠しています。心配事や不安のある方には、安心して眠るよう声かけや支援をしています。		ご利用者様一人ひとりに合わせ、声かけや寄り添い良眠して頂けるよう支援していききたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	食器拭き、お米とぎ、洗濯物をたたむ、本を読むなど、一人ひとりの生活歴や力を活かし楽しみを持ったり、気晴らしの支援が出来るように努めています。		ご利用者様一人ひとりが、役割を持ち、楽しく生活して頂けるよう支援していききたい。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来る方がいないため、本人所持はしていません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	お天気の良い日には、近所を散歩したり、買い物やペットショップへ出掛けています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	レクリエーションなどで、お花見、紅葉見学、イルミネーション見物などユニット全員参加で出掛けています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	居室に、電話をお持ちのご利用者様は、おりませんが、希望される時には、いつでも利用して頂けるように、支援しています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも訪問は歓迎し、お茶を出し、ゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています。		気軽に訪問して頂けるよう環境や雰囲気にも配慮していきたい。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を開き、事故の起きない環境に整備しています。又、職員は、身体拘束を理解しており、拘束のないケアに取り組んでいます。		人間としての尊厳を常に考え、身体機能の低下に繋がる身体拘束をゼロにするように、その原因を取り除くケアに今後も取り組んでいきたい。
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関の鍵はかけておらず、いつでも出入りが自由になっています。各階への移動は、エレベーターを使用しておりますが、扉が開くとチャイムが鳴るようになっており、鍵をかけないケアに取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	共有スペースに集まっていない時には、定期的にご利用様の所在を確認し、ご利用者様、全員の様子を把握するよう努めています。		各居室、トイレなどにナースコールを設置し、使用できる方には、使用して頂いています。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入所した時には使えても、現在、使用しなくなった物(はさみ・針など)は、ご家族様に相談し、別に保管している。縫い物をされる方については、針など落ちていないか気をつけ、声かけをしている。		ご利用者様一人ひとりの状況に合わせてご家族様と相談しながら、危険を防ぐ取り組みをしていきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	内服時には、職員2人体制で服薬の支援をしており、誤薬のないよう配慮しています。歩行器など利用されている方は、歩行の見守りや居室内での様子観察を定期的に行っています。元気な方でも歩行時には見守りをし、事故防止に取り組んでいる。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	ケガ、骨折など応急手当の指導は、施設内研修を開き、看護師より指導を受けています。急変時や事故発生時には、管理者・医師の指示のもと対応しています。日常的に想定できる急変や事故発生時の対応は、職員間で話し合っています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力を得て、避難経路の確認や消火器の使い方の指導、設備点検が定期的に行われている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	転倒や持病について起こりうる変化は、家族と話し合い、本人の自由を奪わないようリスクについてと対応の仕方を説明している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		<p>自然排便に繋がるよう生活を支援し、排便状況を確認しながら医師と相談し取り組んでいきます。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		<p>感染症の発生を防ぐ為に原因となりうる事柄を考え予防に努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は、前日に届き、冷蔵庫、冷凍庫に保管。調理器具の消毒、布巾の消毒を毎日行い、衛生管理には注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関を入るとフロアがあり、ソファ、テーブルなど設置し、気軽に来て頂けるようになっている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂の一角が小上がりになっており、本や新聞、音楽が聴け、テレビもみられる。季節毎に飾りつけし、楽しめるように工夫している。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂で過ごされたい、ご利用様は、そちらで過ごされ、気の合ったもの同士、各居室で仲良くお喋りを楽しんでいます。		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用様の居室には、本人の馴染みの家具が置かれ、その方らしいお部屋になっています。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	毎日の掃除の際に、換気を行い、フロア内に温度差が生じないように、温度調節しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>建物の外回りを活用し、ご利用様が楽しめる空間にしていきたい。</p>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

ご利用者様とのコミュニケーション、ご家族様とのコミュニケーション、職員同士のチームワーク・情報の共有化が出来て、信頼関係が築かれると考えております。これからも、できる事を積み重ね、ご利用者が安心して快適に生活できるよう支援して行きたい。